

オンライン取引権限機能について

オンライン取引権限機能とは

オンライン取引権限機能とは、オンライン取引の資金移動操作において、管理者が利用者毎に処理可能な権限（登録・承認・送信）を設定し、その権限のある利用者が各処理を可能とする機能です。

資金移動を登録→承認→送信とそれぞれ別プロセスに分かれて操作を行うため、複数の人で内容を確認しながら資金移動を行うことができます。

オンライン取引権限機能一覧

機能	機能説明	操作者
オンライン取引権限機能の設定	管理者が登録されている利用者に対して、資金移動に関する登録・承認・送信の権限を付与します。	管理者
資金移動データの登録	資金移動データの登録を行います。	利用者
資金移動データの承認	登録権限が付与された利用者によって、登録された資金移動データの承認を行います。	利用者
資金移動データの送信	承認権限が付与された利用者によって、承認された資金移動データの送信を行います。	利用者

オンライン取引権限機能の対象取引

- 資金移動（連続資金移動を含む）

オンライン取引権限機能の注意事項

- 権限の設定について
 - ・オンライン取引権限機能について、「利用しない」から「利用する」、または「利用する」から「利用しない」に変更した場合、登録されている利用者の資金移動権限は一旦クリアされます。改めて、権限を設定してください。
 - ・一人の利用者にすべての権限を設定した場合は、承認および送信の操作は不要となります。
 - ・「メールワンタイムパスワード送信先アドレス」はすべての権限者について登録が必要です。（メールワンタイムパスワード認証機能は税金・各種料金の払込で使用するため）
- 資金移動について
 - ・資金移動データの登録→承認→送信操作を行うまで取引は完了しません。
 - ・資金移動指定日の受付可能時限までに送信操作を完了してください。受付可能時限以降は送信操作で指定日エラーとなります。
 - ・資金移動先口座確認は送信操作時に実施します。したがって、送信操作は口座確認を実施している時間帯に行うことを推奨します。
 - ・メールワンタイムパスワード認証機能は送信権限がある利用者が行います。
 - ・登録内容の変更はできません。登録権限がある利用者でログオンしてデータを削除してから改めて作成してください。
 - ・資金移動指定日を超過した場合は期限切れとなり、承認操作、および送信操作は行えません。